

ステークホルダー
のご意見

発電所の近くに住むとしたら…と考えると、
環境対策が徹底されている事は安心につながる。
(主婦)

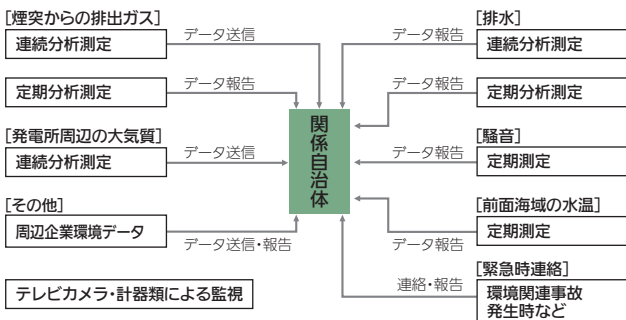
2 環境保全の管理

発電所等では、周辺環境の監視や化学物質の管理など、環境保全の管理を徹底しています。

(1) 環境モニタリング

発電所の周辺環境については、関係自治体、周辺企業との連携により、厳格に管理しています。

【環境モニタリングと報告】



(2) 非常時の対応

設備事故や自然災害に起因する当社施設の被害は、周辺環境に影響を与えることも考えられます。これらの非常時に備え、防災設備の設置・整備や社員教育、自治体との連携による防災訓練等の実施や各種対応マニュアルの整備などを行っています。

(3) 化学物質の管理

発電所等で取り扱う化学物質については、それぞれの事業所で関係法令に基づいた適正な管理を行っています。

a PRTR制度

指定化学物質の排出量、移動量を調査集計するとともに、自主的に結果を公表しています。

【PRTR調査実績(2009年度)】

単位:kg

物質番号	物質名	主な用途	取扱量	排出量(大気)	移動量
26	石綿	配管保温材	2,890	0	2,890
30	ビスフェノールA型エポキシ樹脂	機器塗装	2,200	44	0
40	エチルベンゼン	機器塗装	3,600	3,600	0
63	キシレン	機器塗装	12,000	12,000	0
177	スチレン	機器塗装	7,700	7,700	0
253	ヒドラジン	給水処理剤	22,900	1.4	0
304	ほう素及びその化合物	原子炉反応度制御材	4,400	0	0
353	りん酸トリス(ジメチルフェニル)	タービン制御油	1,900	0	1,900

(注) 事業所における年間取扱量1トン以上の第1種指定化学物質(特定第1種指定化学物質は0.5トン以上)について集計(有効数字2桁を集計)。

b PCB(ポリ塩化ビフェニル)

PCB廃棄物には、絶縁材料としてPCBを使用した「高濃度PCB使用電気機器等」と絶縁材料に何らかの原因で微量のPCBが混入し汚染された「微量PCB汚染廃電気機器等」があります。

当社が保有する高濃度PCB使用電気機器等は、2006年度より、国の監督のもと設置された日本環境安全事業(株)北九州事業所のPCB廃棄物処理施設において、計画的に無害化処理を進めており、2010年3月末現在の処理率は約60%、保有台数(トランス、コンデンサ類)は659台となっています。今後も適正に処理を行い、2014年3月末を目途に、すべての処理を完了する予定です。

また、微量PCB汚染廃電気機器等については、2009年11月の関係省令(無害化処理認定制度等)改正により処理が可能となる電気機器等についての無害化処理を、2010年度より開始する予定です。

なお、PCB廃棄物は、廃棄物処理法などに基づき厳重に保管・管理を行っています。

【参考】電磁界について

電力設備から発生する電磁界が居住環境における人の健康に与える影響については、国内外で行われた研究等に対し、環境省、経済産業省、世界保健機関(WHO)、米国物理学会などによる総合評価がなされており、いずれも人の健康に有害であるとの証拠はないとされています。

また、当社の電力設備から発生する電磁界の大きさは、WHOが推奨する国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)のガイドライン値に比べて、十分低い値となっています。

これらのことから、当社としては、電力設備から発生する電磁界が人の健康に有害な影響を与えることはない判断をしています。

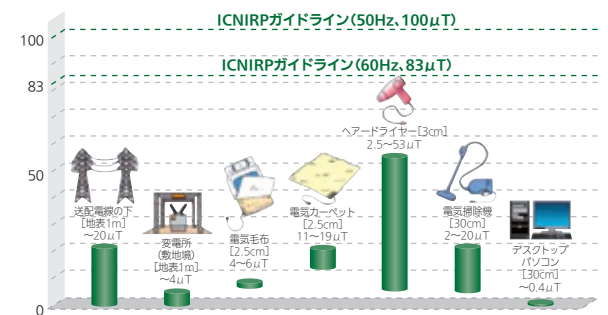
電力設備から発生する電磁界について、お客さまにご安心いただけるよう、科学的な知識を蓄積していくとともに、ご要望があれば磁界の測定や詳しい内容のご説明をいたします。



詳細は九州電力ホームページ
個人のお客さま>よく生活>暮らしの中の電気>電磁界Q&A

【身近にある磁界の発生源】

単位:μT(マイクロテスラ)



(注) 設備・製品下[...]内は、磁界の強さを測定した距離を示す。
出典:「電力設備電磁界対策ワーキンググループ(報告書)、原子力安全・保安部会 電力安全小委員会」より引用。

- ステークホルダー
- PRTR(制度)
- 指定化学物質
- 石綿(アスベスト)
- ビスフェノールA型エポキシ樹脂
- エチルベンゼン
- キシレン
- スチレン
- ヒドラジン
- ほう素及びその化合物
- りん酸トリス(ジメチルフェニル)
- 第1種指定化学物質
- PCB(ポリ塩化ビフェニル)
- 無害化処理認定制度
- 電磁界
- 世界保健機関(WHO)
- 国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)
- テスラ
- 電力設備電磁界対策ワーキンググループ

用語集の解説をご覧ください

c 石綿（アスベスト）

当社の建物及び設備の一部には、飛散性があるとされる「吹付け石綿」と、通常状態において飛散性がない「石綿含有製品」を使用しています。

吹付け石綿は、関係法令にのっとり適切に対策工事を実施し、すべての使用箇所ですべての飛散防止対策を完了しています。

2008年6月のJIS改正で新たに確認が必要となった石綿については、2009年度末に調査を完了し、当社での使用はないことを確認しています。

石綿含有製品については、定期検査や修繕工事等の機会に合わせて順次、非石綿製品への取替えを進めています。

また、建物・設備を解体する際には、法令等に基づき飛散防止措置を徹底の上、適切に解体・搬出・処理を行うことを行っています。

詳細は九州電力ホームページ
原子力・環境・エネルギー＞環境への取組み＞具体的な取組み＞石綿に関する使用状況等について

【建物及び設備における主な石綿使用状況（2010年3月末現在）】

対象	使用箇所	現状（使用状況等）	備考（対応状況他）		
吹付け石綿	設備機器室、変圧器室等の防音材、断熱材、耐火材として一部の壁面や天井に使用。	すべての使用箇所について飛散防止対策済。	<ul style="list-style-type: none"> 定期点検が必要な対策済の建物については、毎年状態を確認。 2008年6月のJIS改正で新たに確認が必要となった石綿の使用はないことを確認済。 		
石綿含有製品	建材	建物の耐火ボード、床材等に使用。	<ul style="list-style-type: none"> 成形品であり、通常状態において飛散性はないため、修繕工事等の機会に合わせて順次、非石綿製品へ取替え中。 		
	防音材	変圧器防音材（変電設備・水力発電設備）		77台	
	石綿セメント管	地中線用の管路材料（送電設備・配電設備）		こう長：約180km	
	保温材	発電設備（火力設備・原子力設備）		石綿含有製品残数：約3万m ³	
	シール材 ジョイントシート	発電設備（火力設備・原子力設備）		石綿含有製品残数： （火力）約36万個 （原子力）約16万個	
	緩衝材	懸垂碍子（送電設備）		懸垂碍子：約147万個 （碍子内部において、緩衝材として石綿含有製品を使用。碍子表面の磁器部分には不使用。）	<ul style="list-style-type: none"> 成形品であり、加えて碍子内部に封入されており、通常状態において飛散性はないため、修繕工事等の機会に合わせて順次、非石綿製品へ取替え中。
	増粘剤	架空線用の電線（送電設備）		電線防食剤：こう長約98km	<ul style="list-style-type: none"> 油性材料（防食グリース）と一体化しており、通常状態において飛散性はないため、修繕工事等の機会に合わせて順次、非石綿製品へ取替え中。

(注) 火力設備には内燃力発電設備を含む。

3 周辺環境との調和

設備形成にあたって、周辺の自然環境や都市景観に配慮するとともに、緑地の形成など環境施策の展開に取り組んでいます。



【無電柱化前】
鹿児島県内の地中化路線（2009年度整備）



【無電柱化後】

● 無電柱化の推進

無電柱化については、都市景観への配慮や安全で快適な通行空間の確保等を踏まえ、国の「無電柱化推進計画」等に基づき、1986年度から道路管理者及び地元関係者と密接に協力し、計画的に進めています。

これまでの取組みにより、当社管内では、市街地の幹線道路及び主要な非幹線道路を中心に、約697km（2010年3月末現在）を無電柱化しています。